

貝塚市災害時要援護者避難支援計画（素案）に対するパブリックコメント結果

実施期間：平成23年3月4日（金）～平成23年3月18日（金）まで

資料閲覧方法：総務部庶務課等にて閲覧、市ホームページへの掲載

意見提出方法：郵送、FAX、電子メール又は直接持参

提出者数・件数：1名・3件

意見	意見の概要	市の考え方	計画該当箇所
1	<p>東北地方太平洋沖地震では多くの方々が被災されました。ご冥福をお祈りします。あらためて平時から誰もが意識して災害に備えることの必要性を認識させられたところであり、この計画もそうした視点で再点検する必要があると感じました。通常はパブリックコメントをふまえてすぐに計画を取りまとめることとなりますが（計画づくりばかりに時間をかけることが良いとは決して思いませんが）今回の経験を活かすためにも、あらためて熟考をお願いいたします。</p>	<p>・素案2ページの「(2)計画の位置づけ」において「計画内容については、随時、必要な見直しをおこなうもの」としております。今回の東北地方太平洋沖地震の被災状況については、今後十分に検証したうえで、必要に応じて、計画内容の修正を図っていきたいと考えております。</p>	2ページ
2	<p>素案については、避難支援体制における各々の役割を示して、情報の収集・共有についても具体的に記載されており、この計画に沿って避難支援登録者名簿と個別支援計画が迅速に作成されることを期待します。個別支援計画の作成にあたっては、実際にきちんと機能する支援者が確保できるかどうかは重要ですが、現在の地域福祉活動の担い手の状況をみると一部の人に多くの役割を委ねている実状があり、心許ない気もします。災害時支援という誰にも身近な課題を掲げることで、多くの人々の理解と協力を得ることが可能だと思いますが、素案にも書かれていますように日頃からの活動やコミュニケーションが不可欠ですので、災害だけでタテ割りの考えるのではなく、地域福祉の視点ですすめていただくことが重要だと考えます。</p>	<p>・ご意見を参考にしつつ、計画の着実な推進に向けて取り組んでまいります。</p>	全般

意見	意見の概要	市の考え方	計画該当箇所
3	<p>素案全体を通じて、地域の側では各地区、自主防災組織、民生委員・児童委員を中心に取り組んでいかれるのだな、という印象を受けます。住民に最も身近な各地区と自主防災組織、要援護者への個別支援を担っていただいている民生委員・児童委員の方々の役割が重要であることは言うまでもありませんが、貝塚市の地域福祉において大きな役割を担っているといわれている地区福祉委員会の位置づけが、やや不明確な気がしないでもありません。地区福祉委員会は各地区・民生委員を重要な構成委員とし、各地区や団体等が連携することで各々だけでは難しい課題に対応していく組織であり、例えば、各地区が情報交換しながら足並みを揃えて取り組み、災害時には地区を越えて協力しあえる関係を強化したり、民生委員さんだけでは担いきれない支援体制を多様な団体の連携によってつくっていくなど、この計画を推進していくうえでも大きな役割をもつべきと考えます。そうした役割を担うためには地区福祉委員会自体の組織や活動をさらに活性化する必要があることも事実ですが、日頃から地域福祉の視点で幅広い取り組みをすすめていくには、それを促進・支援していくことも不可欠だと考えます。</p> <p>「地域の役割」の項の「地区福祉委員」は「地区福祉委員会」にして（これは単なるミスなのかもしれませんが）、校区レベルで各地区や団体が連携、協調して取り組んでいくうえでの推進役的な位置づけをしていただくことが望ましいのではないかと考えます。そして、各地区、自主防災組織、民生委員・児童委員とともに、四者で協力していく体制づくりを望みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をふまえ、9ページの表題「④地区福祉委員」を「④地区福祉委員会」へ変更いたします。 	9ページ